第１回（仮称）豊平地区再編小学校新築検討協議会議事概要

１　日時
令和８年（2026年）10月20日（火）10：00～11：50

２　場所
豊平小学校　３階視聴覚室

３　出席者
別紙のとおり

４　協議会次第
⑴　開会あいさつ(学校配置マネジメント担当課長)
令和５年に立ち上げた学校配置検討委員会において、約２年間にわたり、旭小と豊平小の再編についてご議論いただいたことに感謝申し上げる。
（仮称）豊平地区再編小は校舎、体育館の新築を行うとともに、児童会館やまちづくりセンター・地区会館を一体的に整備することで、より皆様に幅広く利用いただける施設となることを目指している。
子どもたちが安全で快適に学べる環境を整えることはもとより、地域の皆様にとっても永く愛され、親しまれる集いの拠点を目指していく。
地域・保護者・学校の皆様と心を一つにして、未来を見据えた最良の学校づくりに向けた検討を進めていきたい。

⑵　新築検討委員会・協議会の趣旨説明及び基本設計のスケジュールについて
(学校配置マネジメント担当係長)
【資料「新築検討委員会・協議会体系図」、「基本設計　想定スケジュール」】
ア　新築検討委員会・協議会について
基本設計を行う際に、学校に立ち上げていただいている「新築検討委員会」に、札幌市関係担当部署、設計事業者を加えた「新築検討協議会」を本日開催していることを説明。

イ　基本設計のスケジュールについて
資料に基づき、新築検討協議会及び住民説明会の想定開催スケジュールを説明。

⑶　学校施設と児童会館の複合化について（整備事業推進担当係長）
【資料「学校施設と児童会館の複合化について」】
豊平小学校校区内の児童会館である「豊平児童会館」と旭小学校内の「ミニ児童会館」を、今回の校舎新築にあわせて、新校舎と複合化した児童会館として整備する旨、複合化後の施設の概要、整備内容について説明。

⑷　学校施設とまちづくりセンター・地区会館の複合化について（区政係長）
今回の校舎新築にあわせて、地区会館及びまちづくりセンターを複合化して整備する旨説明。加えて、複合化後の施設の概要、整備内容について説明。

⑸　新校舎の配置計画案について(施設整備係)
【資料「（仮称）豊平地区再編小学校新築ほか工事基本・実施設計　第１回新築検討協議会」、「（仮称）豊平地区再編小学校　新校舎の配置計画案について（映像資料）」】

ア　基本方針・設計の考え方

「多様で柔軟な学習空間」、「健やかな学習・生活環境」、「地域との円滑な連携」、「環境への配慮」の４点を目標として施設整備を計画している旨説明。

イ　配置計画案について

「小学校施設整備指針（文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部）」、及び敷地の周辺環境や現状建物配置から、「安心安全で機能的な学校」、「周辺環境との調和」、「屋外環境」、「経済性」、「工期・施工計画」の５つをポイントに施設配置計画を進める旨説明。

現校舎位置での建て替えについては、全体工程やグラウンドの使用不可期間が長くなること、引っ越し作業が２回となること、仮設校舎の建設により多額の費用が発生すること等、複数の課題があることから、既存校舎を使いながら現在のグラウンド側に校舎を建てる配置計画案が望ましく、さらに地区会館部分を後追いで整備することで階層を5階から4階に下げることができるため、学校運営の観点から4階建てとするB案が望ましいと考えている旨説明。

ウ　事業スケジュール

現状の想定では、令和８年度基本設計、令和９年度～令和10年度実施設計、令和11年度から工事着手予定である旨説明。

⑹　配置計画案等に関する主な意見・質疑応答

質　疑	回　答
工事期間中、グラウンドが使えなくなってしまうが、体育の授業や運動会等のイベント実施はどうなるのか。	近隣の公園や小学校・中学校のグラウンドを使用して運動会等を実施する。体育等も工夫しながら教育課程を組んで行う予定。
工事期間中の体育について、近隣の公園や小中学校のグラウンドを使用するということだが、移動時間も授業時間に含まれるとした場合、授業時間が短くなってしまうのでは。	移動時間を考慮した上で体育授業の年間カリキュラムを組むこととなる。 そのほか、中休みの時間を少し長くするなど、学校とも相談しながら、移動経路を適宜見守る想定で、時間や場所を捻出できればと考えている。
ロータリーと昇降口前広場の境目について、冬になると境界が曖昧になる。安全面から、段差やポールをつけることは出来ないか。	ロータリーと昇降口前の広場は、イベント時に一体として使うことで広く使える。状況に応じて柔軟に使用できるようにするため、段差は無い方が望ましいと考えている。 安全面に配慮し、着脱式のポールを設置することは可能だと思うので今後検討する。
学校敷地内に駐輪場の設置は検討しているか。	駐輪場は整備予定ではあるが、具体的な位置の検討はこれからである。 昇降口に近い位置で設置したいが詳細が決まったらお知らせする。
一般の方が昇降口のインターホンを介さずにエントランスにある郷土資料を見学できるようにした方が利用しやすいのでは。	レイアウト等含め検討する。

【結論】
　建物の配置については、今回提案した配置計画B案をベースとして設計を進め、次回協議会では建物の中における教室等の配置を検討することとする。

⑹　新築検討委員会委員長あいさつ(豊平小学校長)
　本日の協議は、建物の配置計画案についての検討であったが、学校として4階建てが限度と考えていた。
　資生館小学校の新築時にも関わった経験があるが、資生館小学校は、地下に屋内運動場、5階にランチルームが設置されていたため、体育が終わった後、ランチルームを利用した給食の場合には地下から5階まで階段を上る必要があり、大変な思いをしていた。
　今回ご提案があった４階建の配置案は、子どもたちにとっても、教員にとっても理想的。
　また、階数だけでなく、歩車分離や雨対策の庇等、よく考えられた計画案であるため、今後どのような案になっていくのか楽しみである。
　より良い校舎となるよう地域の皆様からご意見いただきながら検討を重ねてまいりたいと考えているため、次回の協議会や住民説明会の場でも、引き続きご協力いただきたい。

以上